

令和6年度 香川大学生と高松市議会議員との意見交換会

日時：令和6年11月18日（月） 午後3時15分～午後5時

会場：高松市議会 議場及び委員会室

【午後3時15分】

議会運営委員会の 造田正彦副委員長の司会で、香川大学生と高松市議会議員との意見交換会を開会いたしました。

開会に当たっては、まず、大見昌弘議長が挨拶をして、次に、議会運営委員会の辻 正彦委員長が意見交換会の進め方を説明しました。

その後、4グループに分かれて、テーマごとに意見交換をするため、総務常任委員会が第1委員会室、教育民生常任委員会は第2委員会室、経済環境常任委員会は第3委員会室、建設消防常任委員会は第4委員会室にそれぞれ移動しました。

【午後3時25分～】

市議会の常任委員会ごとのグループに分かれ、各常任委員会が調査・研究しているテーマについて、香川大学生と意見交換を行いました。

グループ1（総務常任委員会）

テーマは、「効果的なシティープロモーションの推進」

まず、中村秀三副委員長からテーマの概要を説明し、住谷篤志委員長の司会で香大生と意見交換を行いました。

まず、高松市のいいところとして、香大生からは、「中央通りなどに樹木が多い」や、「徒歩圏内で過ごせるコンパクトなまち」、「栗林公園は四季が感じられる」、「ホール等での音楽イベントが多い」などの意見がありました。また、その魅力をいかに発信していくかについては、「他都市にもポスターやチラシがあればいい」や、「SNSの活用」、「どんな媒体にも出せる動画を撮っていろいろなものに載せ、シリーズ化してはどうか」などのたくさんの意見をいただきました。



グループ2（教育民生常任委員会）

テーマは、「ICTを効果的に活用した教育の在り方」

まず、小松由美副委員長からテーマの概要を説明し、山下 誠委員長の司会で香大生と意見交換を行いました。

参加した香大生は全員県外出身でしたが、それぞれの都道府県では、「ICTの活用はあまり進んでいなかった」や「中学ではあまり活用していなかったが、高校では回答案をタブレットで共有するなど、授業との相性が合うと感じた」、「大学からタブレットを使用したため、もっと早いうちから活用したかった」などの意見がありました。

また、タブレット活用のメリットについて、「苦手な分野や間違いやすい点が記録に残れば便利」や「プレゼンテーション能力の向上につながる」などの意見、また、デメリットについては、「視力の低下が気になる」や、「ネット依存につながるのでは」また、「デジタルとアナログのバランスが大事なのでは」などの様々な御意見をいただきました。



グループ3（経済環境常任委員会）

テーマは、「アート（文化芸術）de つなぐ、まちなか回遊づくり」

まず、大浦真由美副委員長からテーマの概要を説明し、斉藤 修委員長の司会で香大生と意見交換を行いました。

まず、本市の文化芸術について感じることで、香大生からは、「音楽イベントや大道芸など、知らなかったことがたくさんある」や、「イベントなどの情報があまり伝わっていない、知られていないのでは」などの意見がありました。また、大学生は普段どんなツールから情報を得ているのかについて、X、インスタ、YouTubeなどのうち、Xが一番多かったほか、情報発信について、「情報によって、SNSツールを使い分けするのが大事なのでは」などの意見をいただきました。

さらに、こんなことができればいいのではとの話題には、「遠足で瀬戸内国際芸術祭に参加しては」や、「子供の頃に体験したことは比較的覚えているので、小中学校へのイベントの周知をしっかりと行ってはどうか」などの御提案もいただきました。



グループ4（建設消防常任委員会）

テーマは、「中心市街地におけるウォーカブルなまちづくり」

まず、香川洋二副委員長からテーマの概要を説明し、造田正彦委員長の司会で香大生と意見交換を行いました。

意見交換の中では、まず、サンポートや中央商店街の状況について、香大生から、「高松駅から商店街までの移動が遠い」や、「県外からみても商店街は立派」との意見がありました。また、どのように人流を誘導していくのかについて、「道中にフォトスポットがあればいい」や、「商店街の場所、行き方がわかりやすい看板を設置しては」、また「歩行に影響しない場所にベンチを設置する」などの意見がありました。さらに、「自転車と歩道を区分する」や、「地下道の治安維持やイメージ改善を図る必要がある」、また「ループ（電動キックボード）利用ルールを十分に周知する必要がある」など、安全な歩行空間となるための様々な意見・提言をいただきました。



なお、4委員会ともに、意見交換会の後半にはフリーテーマで学生からの議員への質問等の時間を設け、「議員になるまでの過程、キャリアについて」や、「議員になってよかったこと、大変だったこと」、また、「議員として学生に求めるもの」などのたくさんの質問が寄せられていました。

【午後4時45分】

再度、議場に集合し、各常任委員長から、グループごとの議論の概要等を発表した後、香川大学法学部長の堤教授から御挨拶をいただき、最後に辻正彦議会運営委員長からお礼の挨拶をして、意見交換会を終了しました。

参加学生に実施したアンケートでは、「議員の方とお話をする機会を頂けて、とても貴重な体験でした」や「今後の研究や社会に出てから活かしていきたいと思う」など、ありがたい感想をいただきました。また、高松市が住みやすい魅力ある都市となるためには、どのようなまちづくりをしていけばよいかの質問には、「公共交通にもっと力を入れてほしい」や、「市の内外に魅力を発信していくこと」、「子どもたちが安心して暮らしていけるまち」など、大学生がまちづくりに求めるものについても知ることができ、とても有意義な意見交換会となりました。

御参加いただきました香大生の皆様、本意見交換会の開催に御協力いただきました堤教授をはじめ、関係者の皆様、本当にありがとうございました。

